千丸台保育園の自己評価を終えて（令和４年度）

総合評価　　B

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応も少しずつではありますが緩和され、保育目標である『人との触れ合い』を保育に取り入れる事ができました。異年齢保育や幼保小連携を行う事で人間形成の基盤となる思いやりの気持ちや心身共にたくましい子どもの育成につながり、たくさんの友だちとのやり取りから優しさを学びました。

全職員が子どもたちの安全を第一に考え、成長に繋がるような保育を展開するように努力して日々、過ごせた事は良かった点と考えています。

また職員同士のコミュニケーションを大切にし、職員会議やミーティングを通して情報共有していくことが重要だと感じました。

自己評価からの反省として地域との交流を見直し、『選ばれる保育園』になるためにも地域に根差した園を目指し子育て支援の充実を図りたいと考えています。

また保育の質の向上を図るため、研修を重ね一人ひとりが前向きな意識を持ち、取り組めるよう人材育成にも力を注いでいく事を確認しました。

千丸台保育園　　園長　　相原　陽子